



明日から5連休！ 気持ちのよい季節に家族のふれ合いを…。

春雨が降り、新緑が一段とまぶしい頃となりました。約1か月が過ぎ、子供たちは、新しい学年や担任の先生にも慣れてきたようです。しかし、今年は例年になく気温の変化が激しく、ちょうど疲れもでてきているようです。明日から5連休、ゆっくりして体調も整えてほしいと思っています。今年的大型連休は、実に4年ぶりに外出の制限がありません。家族で旅行等、計画を立てておられるところも多いのではないのでしょうか。気持ちのよい季節・自然の中での家族のふれ合いが子どもの心を元気にします。子供たちにとって有意義な日々となることを願っています。一方、この連休は、コロナ前の人流が戻り、県外からの旅行者も増え、交通事故等のリスクも高まります。この期間の過ごし方については、学校においても指導いたしますので、各家庭におかれましても健康で安全な生活がおくれますよう、状況に応じて声かけをしていただきますようお願いいたします。連休明け、楽しかった思い出を胸に、全員が元気に登校してくれることを願っています。

学校探検をしたよ(1・2年生)！ 4月28日

28日1・2校時に、2年生が1年生を案内して、学校内を回る「学校探検」を実施しました。普段は訪れない校長室や職員室、理科室や家庭科室、図工室や音楽室など、1年生にとっては未知の世界です。まさに「探検」気分でしょう。2年生も、昨年のことを思いだしながら懸命に案内する姿が見られました。部屋に入る時は、「失礼します。～の用事できました。〇〇です。入ってもいいですか？」退出する時も「失礼しました。」と、2年生が手本を見せながら教えていました。

校長室では、ずらりと並んだ歴代校長先生の写真や、たくさんの盾やトロフィー、大きな書庫に興味津々でした。「今までの校長先生は何人でしょう？」

私が尋ねると、2年生が懸命に数えます。「30人！」
「それでは、校長先生は潮見小学校何番目の校長先生でしょうか？」「31番目。」
そういうやり取りが楽しかったです。



避難訓練を実施しました！ 5月1日

今日2校時、今年度最初の避難訓練を実施しました。避難訓練は、原則学期に1回、計3回実施をします。昨年度は1学期：給食室出火による避難（避難の仕方や避難経路の確認）、2学期：不審者からの避難、3学期：予告なし（火事）の避難訓練を実施しています。

今年度も、新1年生が入ってきたので、1回目は火事（理科室）による避難の仕方や避難経路を確認する訓練を行いました。子供の命を守るための職員の動きや訓練に対するの取り組み方等で課題もあったので、反省・確認をしながら、次の訓練につなげていきます。



サクランボの実を収穫したよ(3組)！ 4月27日

27日午前中に、3組のメンバーが「サクランボの実」の収穫を楽しみました。生活単元学習で実施した収穫。収穫の時期をいつにするかみんなで観察していました。二日続けての快晴、ほとんどの実が赤く熟していました。先生たちと一緒に手の届く範囲のサクランボを収穫しました。よく見ると、鳥たちについばまれた実もありました。背の届かないところは鳥たちへのプレゼントです。

収穫した「サクランボの実」、そのまま食べるだけでとてもおいしいのですが、せっかくなので、どのように調理加工するか楽しみです。



【家庭訪問(挨拶訪問)】が終わりました。

4月23日から実施していました、家庭訪問(挨拶訪問)が昨日で終了しました。ご多忙の中、時間を作っていただいた保護者も皆さま、ありがとうございました。おかげで、通学路の確認や、子供たちが生活するご家庭・地域の様子を知ることができました。子供たちを見るとき、その保護者を知ることとはとても大切なことです。これからも、懇談会や夏休みの個人面談等、しっかりとコミュニケーションを取りながら連携を深めていけたらと思います。

今年から潮見小学校は「コミュニティスクール」として認定されました！

4月27日、佐世保市教育委員会も参加して「第1回 学校運営協議会」が開催されました。いよいよコミュニティスクールとしての活動がスタートします。開催に先立って、委員会より各委員さん方へ委員の委嘱状や人事発令通知が手渡されました。併せて、学校運営協議会の会長の選出や校長による学校経営の説明と承認、年間の活動計画、意見交換が行われました。

保護者や地域の方々と協働して、子供たちの教育が充実するよう、様々なアイデアが出されて時間が足りないくらいでした。スタートしたばかりです。これらの意見やアイデアを基に、負いすぎずできることから実践できればと考えています。

佐世保市の

コミュニティスクールとは何か！お知らせするパンフレット

コミュニティ・スクール と 地域学校協働活動

コミュニティ・スクールってなに？

コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。学校運営協議会は、保護者・地域の皆様と教職員の代表者などが委員となり、学校の目標や課題について意見を交わしたり、承認したりすることで、これまで以上に保護者・地域の皆様のお声やニーズを学校運営に生かしながら、社会総がかりで地域の子どもたちを育てていこうという仕組みです。これからの時代を生き抜く力をもつ子どもたちを育成するためには、学校だけでは得られない知識・経験・能力が必要です。そこで、各学校では「地域とともにある学校づくり」を目指しており、そのための有効な手立ての一つが、コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）です。

地域学校協働活動ってなに？

「地域学校協働活動」とは、学校運営協議会で話し合った内容などを踏まえ、地域学校協働活動推進員等のコーディネートの下、地域の高齢者、学生、保護者、PTA、NPO、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



学校運営協議会

地域・保護者の代表と学校が目標やビジョンを共有し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みのことです。

コミュニティ・スクールの詳細はこちら
「学校と地域でつくる学びの未来」のHP



地域学校協働本部

既存の地域と学校の連帯体制をもとにして、地域学校協働活動推進員が中心となり、より多くの幅広い地域の方や団体の協力を得て、子どもたちの活動を推進する体制のことです。

地域学校協働本部の詳細はこちら
「学校と地域でつくる学びの未来」のHP

